

連載41 ウガミヤフラ(こんちちは)  
鹿兒島事務所です！

高山流鏑馬(やぶさめ)祭り

県内各地で行われる秋の祭りといえば、2万人の踊り手が連なる鹿兒島市のおはら祭りや、5メートル近い竹籠製の大男が練り歩く曾於市の弥五郎どん祭りなど、ダイナミックな行列のものが有名ですが、今回はひとりの少年が主人公となる肝付町の高山流鏑馬祭りを紹介します。



高山流鏑馬は900年近い歴史があり、疾走する馬上から矢的を射抜き国家安全、五穀豊穰、悪疫退散を祈願する年占いで、射ら



れたのは四十九所神社に奉納されます。流鏑馬の射手は、地域に住んでいる中学生2年生の中から一人が選ばれ、馬に乗ることから始め、一ヶ月間の稽古のち本番にのぞみます。狩衣装束に身を包み、弓受けの義により神の使いとなつた少年は、神社の鳥居前約330メートルの参道を3回駆け抜けながら合計9本の矢を放ちます。少年が参道を駆け前には、羽織袴姿の正装をした少年の父親が参道を清め歩きます。

少年のかけ声で馬が駆け出すと、すべての観客が固唾を呑んで見守り、会場には一瞬の静寂と馬の足音だけが響いていました。そして、人馬が一体となり矢が

的に見事命中すると、大きな歓声が沸き起こりました。射手として選ばれた少年は、伝統ある祭りの大役を任せられ、背負うプレッシャーは相当なものだと思います。保存会の方々と周りの支えがあつて無事に神の使いとしての役目が果たせられ、様々な教えを受けながら人間のにも大きく成長していくのでしょうか。全ての矢を放つた後でも凜とした表情の少年と、大役を果たした我が子の前を最後に清め歩く少年の父親が目には涙を浮かべていた姿を見るとき、900年もの間、この伝統的な祭りが続いている理由がわかつたような気がしました。



所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『いちばんやさしい地方議会の本』

野村 憲一／著 学陽書房

地方議会について、議会に初めて触れる人でも理解しやすいように読みやすく、わかりやすく書かれた解説本。地方議会の制度としくみ、そして議会改革を含む運営の実態を、図や表を交えながら学ぶ。



『これならわかるへスッキリ図解 障害者差別解消法』

二本柳 寛／編著 翔泳社

社会的障壁ってどういうこと? 合理的配慮って? 指標のガイドラインはあるの? 障害の種類には何がある? 2016年4月施行の「障害者差別解消法」をわかりやすく解説。「改正障害者雇用促進法」も取り上げる。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

